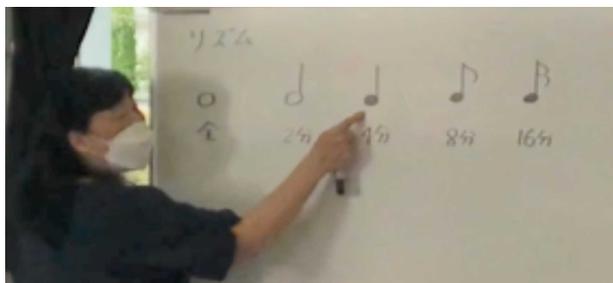


9月21日（水）第1回合同授業・野崎中【音楽】 10:20～

**めあて：①リズム打ちをすることができる  
②和音の響きがわかる**

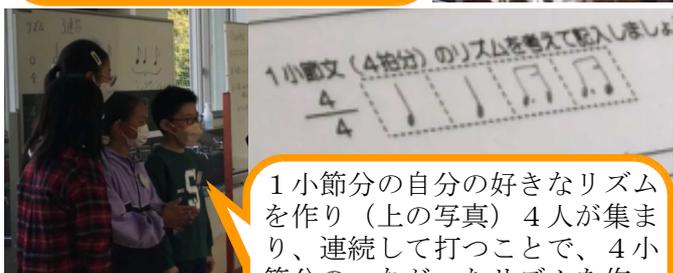


中学校では8分音符より短い16分音符が出てきます。数字はどのように変わっていきますか？それに対して、音の長さはどうなっていますか？

児童の反応：数字は2倍になっていて、音の長さは半分になっている。

**教科横断的な学習**

手拍子で、4分音符、8分音符、三連符、16分音符を4小節打つ練習。3連符まではそろっていたが、最後の16分音符をたたくときに、ずれてしまったり、回数が多くなってしまったりと、難しそうだった。

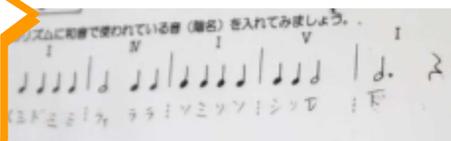


1小節分の自分の好きなリズムを作り（上の写真）4人が集まり、連続して打つことで、4小節分のつながったリズムを作る。1小節ごとに全員が繰り返すことで、リズムを打つ楽しさを全体で共有していた。



さっきまで手拍子で打っていたリズムを、リコーダーで音階により8小節間刻む。音程も気にしながら正確にリズムを刻まなければならないので、子供たちは集中して取り組んでいた。

代表的な和音の構成 I→IV→I→V→I を5小節つなげ、和音の中から1音だけ選んで独自の曲を作り→全員で合わせてみた↓



**最後は合唱で締めくくり。**



なんということでしょう！！43人それぞれ独自の和音にあった音をふくことで、リズムごとに音程が変わり、それがメロディーに聞こえてくるではありませんか。子供たちも、この不思議な感覚に、驚いていました。

最後の合唱も美しいハーモニーを奏でていました。本時は、リズム→和音→旋律が自然に構成されていく音楽のシステムを感覚的に体感できた授業で、音楽の3要素である。リズム、メロディー、ハーモニーに重点を置いた授業でした。児童も皆意欲的に取り組みました。